

令和4年度 モニタリング評価実施による改善のための対応方針

施設名称： 大阪府立青少年海洋センターファミリー棟	指定管理者： ソーシャルリゾートみさき	指定期間： 令和4年4月1日～令和9年3月31日	施設所管課： 福祉部 子ども家庭局 子ども青少年課
------------------------------	------------------------	-----------------------------	------------------------------

評価項目	評価基準	評価委員の指摘・提言等	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画等への反映内容
I. 提案の履行状況に関する項目				
(5) 管理運営業務実施計画の実施状況	○施設管理運営の基本方針を達成するため具体的な取組みが適切に実施されているか	当初の事業計画ではグランピングやトレーラーハウスでのキャンプなどの提案もあったが、泉南市や貝塚市、予定ではみさき公園跡地などの周辺地域にも、新しいグランピング施設が続々とできている。今後、コロナ禍が終息したとき、当初計画どおりに運営できるか、経営状況がどのようになっていくか、不安材料もあるが、様々な企画・実施に期待したい。	町内関係団体との連携を図りながら、周辺地域の状況やニーズの変化も注視しつつ、実行性・実現性のある事業の実施に向けて検討するよう要請する。	阪南市に昨年オープンしたグランピング施設は他施設より比較的安価な料金設定となっているが、空室が多く見受けられ(予約サイトで確認)、一時期のグランピングブームより明らかにニーズの減少がある。一方、コロナ禍の影響を受けて、自らテントを貼ってキャンプを楽しむ層が増えてきており、ある一定の条件を満たしている(浴場・トイレ完備)キャンプ施設は予約が取れない状況となっている。このような情勢を鑑み、多額の初期投資が必要となるグランピング施設ではなく、ウッドデッキのみを整備し、ユーザーがテント設営が出来る施設整備に計画変更する事で、集客面でも資金面でも安定した経営を実施できる物と考える。 また、ソーシャルリゾートみさきとして岬町観光協会に加盟(会員登録)し、観光協会主催の各イベントを組み込んだツアーや、町内各種団体と連携したインバウンド向けツアー等、様々な顧客層のニーズにマッチしたツアー実施を行っている。
III. 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目				
(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	○各部門に必要な人員が適切に配置されているか ○職員の採用、確保が適切に実施されているか ○職員の指導育成、研修が適切に実施されているか ○職員の勤務形態、勤務条件が適正に確保されているか	I - (5)に記載のとおり。	運営開始に向けては、多岐に渡る調整等が必要であり、また、当初計画時より周辺地域の状況等にも変化が生じているため、それらに柔軟に対応できるよう、早期の体制確保や事務分担の見直しを要請する。	オープンに向けて、海風館専属職員の確保を進め、支配人等、実際の運営を担う人材を配置していく。 大阪府や各業者との調整、認可申請に関しては、引き続き当法人理事長が管理し、必要に応じて法人本部職員が実務を担う体制へと移行する。
(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	○施設運営管理者として、適切な財務状況が確保されているか	I - (5)に記載のとおり。	今年度、開館できなかったことによる影響が懸念され、また、コロナ禍の影響は未だ続いており、加えて物価高騰等の不安材料もある中、今後、いかに適切な財務状況を確認しながら運営されていくのか、具体的な経営計画の提示を要請する。	開館に向けて、宿泊施設運営代行者の協力を得て、国内旅行サイトに加え、海外向け旅行サイトへの登録を実施し開散期(7月8月以外)のインバウンドを対象とした集客を目指す。また、集客の為、他宿泊施設との差別化を明確化する為、地元漁師から直接仕入れた鮮魚を用いた食事を安価(原価率70%程度で設定)で提供する。 また、放課後等デイサービスの宿泊体験事業や、就労継続支援事業所向けの研修を実施し、閑散期の集客を行い、開館初年度年間平均稼働率40%を目指す。

